

# 実績確認概要書

平成 28 年 8 月 29 日  
ビューローベリタスジャパン株式会社

## 1. 排出削減事業の概要

|              |   |
|--------------|---|
| 排出削減事業名      | 廃タイヤボイラからヒートポンプへの更新プロジェクト   |
| 承認番号         | KC1099  |
| 排出削減事業者名     | 株式会社十和田ポニー温泉  |
| 排出削減共同実施事業者名 | 株式会社 FT カーボン<br>(その他関連事業者名：なし)  |
| 事業実施場所       | ホテルポニー温泉<br>(住所：〒034-0001 青森県十和田市大字三本木宇佐井幅 167-1)   |
| 事業の概要        | 廃タイヤボイラ 3 基からヒートポンプ 1 基へ更新する。省エネルギーするとともに、低炭素燃料を使用することで、CO2 排出量を削減する。   |
| 排出削減量の計画     | 2011 年度 7 tCO2/年<br>2012 年度 46 tCO2/年<br>(国内クレジット事業実施期間合計 53 tCO2)<br>2013 年度 14 tCO2/年<br>2014 年度 17 tCO2/年<br>2015 年度 17 tCO2/年<br>2016 年度 17 tCO2/年<br>2017 年度 17 tCO2/年<br>2018 年度 17 tCO2/年<br>2019 年度 15 tCO2/年<br>(J-クレジット事業実施期間合計 114 tCO2) |
| クレジット認証期間    | 事業開始日 2012 年 2 月 15 日<br>終了予定日 2020 年 2 月 14 日  |
| 排出削減方法論      | 方法論番号 002 「ヒートポンプの導入による熱源機器の更新」   |

## 2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2016年3月31日（第2回目実績報告）

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており、適正である。

|       |  |
|-------|--|
| 排出削減量 | 137 tCO <sub>2</sub><br>(2013年4月1日～2016年3月31日) |
|-------|--|

### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

| 要件                                       | 実績確認手続き   |
|--|---|
| 排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること          | 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合）<br>—<br>2) 対象期間中の設備稼働確認<br>導入したヒートポンプは実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における月毎の電力使用量実績が季節要因を除きほぼ一定（使用量の少ない5～7月で数%以内の変動）であることにより確認した。  |
| 排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること | 1) モニタリング方法の確認<br>モニタリング対象指標の実績値内容を確認し、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、ヒートポンプ導入に関するモニタリングが実施されていることを確認した。<br>2) 活動量の正確性<br>関係者への質問、活動量の実績データの検証、CO <sub>2</sub> 削減実績算定エクセルの検証等により、制度の実施規定及び承認排出削減事業計画通り、ヒートポンプ導入による、電力量データの保管、実施前のボイラ効率等の記録の保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。<br>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認<br>承認排出削減事業計画通りのモニタリング対象指標がリストアップされ、使用されている単位発熱量、排出係数等がJ-クレジット制度・モニタリング・算定規程（排出削減プロジェ |

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
|                                     | <p>クト用) Ver2.5 及び日本国温室効果ガスインベントリ報告書 (2016年版) によるデータであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認<br/> 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。<br/> 排出削減量の計画値と実績値との差異は、計画時の電力使用量に対して実績が約 2.8 倍となっており、その結果ベースライン排出量、事業実施後の排出量、並びにそれらの差である排出削減量とも約 2.8 倍となった為である。電力使用量実績値に誤りがない事は電力会社の請求書で確認しており、算定結果に誤りはない。</p> |
| <p>算定期間が 2020 年 2 月 14 日を超えないこと</p> | <p>本実績確認の対象期間は、2013 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2020 年 2 月 14 日を超えないことを確認した。</p>   |

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価 (該当する場合) なし。

#### 6. 特記事項

省エネルギーの実績量が、原油換算で 90kL であることを確認した。

以上